

### 第3回地域新エネルギービジョン策定委員会

日時 平成19年12月25日（火） 14時～17時

場所 松阪市役所 2階 市議会第3・4委員会室

出席者

策定委員会委員 9名

朴恵淑（委員長）、小林文秋、高山和久、田中穰、富田求、西川博明、西村智行、松本圭史、水谷一秀

オブザーバー 1名

独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構関西支部事業管理部 和田主任

事務局 4名

樋口環境部長、前川環境課長、三田環境推進担当主幹、若山環境推進係主任

コンサルタント 2名

株式会社ヒラテ技研静岡事業部 青木所長代理、菊池主任研究員

傍聴者 1名



## 議題等

1. 前回指摘事項に対する修正報告他
2. 市民アンケート調査結果報告
3. 先進地事例調査報告
4. 第4章 新エネルギービジョンの策定（新エネルギー導入プロジェクト）
5. 第5章 新エネルギービジョンの推進方策
6. 第6章 国、県の補助事業及び先進事例調査
7. 地域新エネルギービジョン概要版の提示
8. その他

## 議事の内容

環境部長：改めまして皆様こんにちは。年末の大変お忙しい中、第3回松阪市地域新エネルギービジョン策定委員会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。前回のこの委員会におきましては委員会協議後、悪天候の中、三重大学フィールドサイエンスセンターおよび青山・榊原風力発電施設の見学ということでご参加賜り誠にありがとうございました。

本日は、松阪市新エネルギービジョンの私どもが知恵を絞りまとめました素案をご提示し、皆様から貴重なご意見を頂ければと考えております。この素案につきましては、松阪市新エネルギービジョン策定において、一番重要なところでして、松阪らしさを出して参りたいと思っております。松阪らしさとは、他の市町と違うなにかというわけではなく、知恵を出し合い、みなさんの意見を頂きより良いものにまとめていくということが松阪らしさであると考えております。どうぞよろしくお願い致します。

### 1. 前回指摘事項に対する修正報告

（事務局説明）

- ・ 20歳代独自アンケートについて
- ・ 省エネルギーの記述について
- ・ 「本庁」の表現記述について
- ・ 電気等の単位表現記述について
- ・ 数値の比較対象について
- ・ 新エネルギー導入可能性の評価のまとめ

委員長 : ありがとうございます。今説明いただいた内容についてご意見等はいかがでしょうか。  
無ければ次へ参ります。事務局さんお願いします。

## 2. 市民等アンケート調査結果報告

(事務局説明)

委員長 : ありがとうございます。今説明いただいたアンケート調査についてご意見等はいかがでしょうか。  
私からで申し訳ないのですが、24 ページの男女割合及び年代別のグラフは、人数を載せていますが、一般的に見てパーセントで示し、人数は括弧にされてはいかがですか。また、25 ページから 28 ページにかけては、市民全体と 20 歳代独自ということで分母が違うと思いますのでその重みという観点から、こちらもパーセントで表現された方がよろしいかと思えます。

事務局 : 調整、検討をさせていただきます。

委員長 : わかりました。他に委員のみなさんはいかがでしょう。

委員 : この回答率 36.7%というのは、他のいろいろなアンケートがあるかと思いますがこの数字が高い回答率なのか、低いのがわからないのですが。

委員長 : 大変重要なポイントですね。事務局はどのように考えていますか。

事務局 : 市民対象 1500 通に対し 526 通、37.6%ということですが、ご回答いただいた方々は、この地球環境問題、新エネルギーに関心があるということになるかと思えます。また、20 歳代独自アンケートでは 100%の回答で関心のある無しに関わらずご回答いただいています。これらを総合的に見て市民の方々の傾向としては有効であると考えております。

委員長 : アンケートの回収率、回答率はその対象となる自治体の規模にもよると思えますので一概には多い少ないは言えないですね。以前、私が関わったアンケート調査では人口数千人というところでしたが、松阪市は 20 万弱の人口であり、しかもアンケート内容も少なくない中、37.6%というのは高い回収率であると感じます。

## 3. 先進地事例調査報告「岩手県葛巻町」

(事務局説明)

委員長 : ありがとうございます。今説明いただいた内容についてご意見等はいかがでしょうか。

無ければ次の今日一番重要なところへ参ります。事務局さんお願いします。

#### 4. 第4章 新エネルギービジョンの策定（新エネルギー導入プロジェクト）

（事務局説明）

委員長 : ありがとうございます。今説明いただいた内容についてご意見等はいかがでしょうか。

委員 : 申し訳ないのですが、この後席を外しますので3点ほど申し上げさせていただきます。まず、72ページのところで畜産資源バイオマスについて触れていますが、67ページにおいてはそれについて明記されていませんのでお考え頂きたいということ、それから、70ページと71ページでは太陽光発電のエネルギーがキロワットとメガジュールになっておりこのあたりがわかりにくいこと、それと79ページの太陽光発電においてCO<sub>2</sub>の削減量748キロを約1トンとしていますが、せめて0.7か0.8トンとすべきではないでしょうか。この3点のご検討をお願いいたします。

（松本委員退席）

事務局 : 最初のご指摘につきましては67ページのバイオマスの項目に木質もし尿も生ごみもすべて含まれているかたちになっていますので調整をさせていただきます。また、70ページ71ページにつきまして太陽光発電においてはその期待可採量をキロワットで表したものを他のエネルギーと比較検討するにあたりメガジュールに換算しておりますのでこのような形になっております。また79ページにつきましてはご指摘のとおり0.8トンとさせていただきます。

委員長 : 松阪市新エネルギービジョンの方向について72ページは大変重要になってくると思います。そのなかで二重丸、丸、三角が評価として示されていますが77ページの主要導入プロジェクトとしてあげられている、太陽光、森林資源バイオマス、風力に関しては太陽光だけが二重丸であとは丸となっており、逆にクリーンエネルギー自動車は評価では二重丸となっていて整合性というか印の重さが食い違っているように思います。また、主要導入

プロジェクトの書いてある順序は何か理由があるのですか。それと 85 ページのイメージはここには必要ではないと考えますがいかがですか。

事務局 : 72 ページの評価の中で太陽光につきましては現在、公共施設への導入について関係する担当部署が導入に向け前向きに検討をしています。また、クリーンエネルギー自動車については現在市役所でも 5 台の導入実績があるほか、市民アンケートにおいても導入したいとの回答が多いことから二重丸としました。

77 ページの主要導入プロジェクトの順序につきましては今お話しした太陽光発電につきまして導入の可能性があること、森林資源バイオマスにつきましては市内民間事業者の熱供給組合の施設が稼動したあと、森林資源バイオマスの余剰分を利用できれば展開できればと考えており、風力発電については民間事業者が事業を行う際に事務手続き等を支援することを目的としています。以上のことから実現の可能性の高い順になっています。85 ページについては、今後、庁内において公共施設の改築や建築の事案が出てきた際にこういったものが導入、活用できるのかを示すものです。このイメージから導入を推進できればと考えました。

委員 : 本題とは外れますが、今お話の出ました熱供給施設について現在の状況をお伝えさせていただきます。現在ウッドピア木質バイオマス利用協同組合では嬉野の熱供給施設へ送り込むための破碎施設を有しています。嬉野の熱供給施設は来年 10 月に完成予定であります。現在は、建築廃材を取り扱うための廃棄物処理業の許可待ちであります。なお、嬉野の熱供給施設は約 10 億円で建設されていると聞いています。80 ページからのチップボイラーは 3000 万円ということでしたが、こちらは施設全体ということであり、物自体が違うということであります。なお、80 ページにはウッドピア木質バイオマス利用協同組合の写真ではなくチップボイラーの写真を使用してください。

委員 : 主要導入プロジェクトについては、賦存量から松阪らしさというものを示し、子供たちが新エネルギーを使うことでCO2削減の効果が期待できると松阪らしさから次世代に伝えられるようなものにして頂きたい。

委員 : 72 ページの評価については住民の関心、賦存量等いくつかの項目で評価し、それを踏まえ総合評価という形にされてはいかがですか。

委員長 : 大変いい意見だと思います。今おっしゃられた項目や環境教育面なども含めて表にさせていただければありがたいですね。

委員 : その 72 ページ項目に家庭向けの要素としてエコウィルやエコキュートなども加えていただきたいと思います。あと、風力発電は市が行うのですか。

- 事務局 : 風力発電については、先ほども説明いたしました通り、現在民間事業者 2 社がそれぞれ風況調査を行っております。こちらとしましては、市が設置するのではなく、そういった民間事業者の風力発電施設の設置に対して事務的手続きなどで支援できればと考え、他の 2 つのプロジェクトと比べ若干距離があります。
- 委員 : 風力発電施設の設置は送電線の状況や取り付け道路等の側面も評価に入れていただきたいです。
- 委員長 : 先ほど、田中委員がおっしゃっていたチップボイラーのコストと熱供給組合の施設の費用に大きな差がありますが。
- 事務局 : この 79 ページの金額については現在重油ボイラーを使用しているところに、替わりにチップボイラーを入れる場合のチップボイラーの価格で、熱供給組合の費用は熱供給システム全体の費用ということです。
- 委員長 : なるほど、わかりました。しかし、今回の報告書にはコストは必要なのでしょうが、意味が無いように思いますが。
- 事務局 : コストについては意味が無いようであれば外させていただきます。まとめさせていただきますと 72 ページにつきまして 77 ページと関連性が持てるようにさせていただきます、85 ページについては参考資料等にさせていただきますと思います。
- 委員長 : もうひとつ。基本理念にある「もったいない」の意味は。
- 事務局 : この「もったいない」については松阪市環境基本計画環境ビジョンと関連しております。この「もったいない」は松阪市には太陽光が折角あるのに、風が折角吹いているのに、森林の木々がたくさんあるのに「もったいない」ということです。
- 委員長 : ありがとうございました。  
次へ参ります。事務局さんお願いします。

## 5. 第 5 章 新エネルギービジョンの推進方策

(事務局説明)

- 委員長 : ありがとうございました。今説明いただいた内容についてご意見等はございますか。
- 委員長 : 86 ページの内容は一方通行な感じで昔の考え方。92 ページの考え方が今の時代にあっており、86 ページの内容は 94 ページのほうに入れてしまった方がよろしいかと思えます。

事務局 : 検討させていただきます。  
委員長 : ありがとうございました。  
他の委員の方のご意見が無ければ次へ参ります。事務局さんお願いします。

## 6. 第6章 新エネルギービジョンの推進方策

(事務局説明)

委員長 : ありがとうございました。  
ご意見が無ければ次へ参ります。事務局さんお願いします。

## 7. 地域新エネルギービジョン概要版の提示

(事務局説明)

委員長 : ありがとうございました。なにかご意見等はございますでしょうか。  
委員長 : 概要版の表紙には日付は入りますか。  
事務局 : 入れる予定になっております。  
委員長 : 3のグラフの表現において見易さの観点からすべて線で引っ張って項目を書いて頂きたいです。この概要版はどこにどれだけ配布されますか。また、子供たち向けと2パターンにはできませんか。  
事務局 : グラフについては検討いたします。なお、この概要版は3000部の印刷予定となっており、先般入札をいたしましたが入札が不調に終わり、こちらが想定している金額では少し厳しいような状況です。従いまして、このような状況では小学生向けというのは本事業では厳しいです。しかし、現在松阪市で進めています松阪市環境パートナーシップ会議などでは様々な組織が作られており、その中でこの資料を活用をさせていただいたり、その事業の中で子供向けに新たに作っていただくことは可能かと思えます。  
委員 : 我々教育委員会や学校の先生方の研究会等で様々な方策を執っており子供向けの資料を作成したりしています。そういった所に資料や情報を提供させていただく等、連携を都市ながらやっていきたいと思えます。  
委員長 : 学校の先生の中で絵が上手い方などがいらっしゃるからとてもよいことではないかと思えます。

委 員 : 74 ページの基本方針については先ほど口頭で説明されたことを文中に入れていただき、よりわかりやすくしていただきたいと思います。

## 8. その他

(事務局説明)

委員長 : 長時間ありがとうございました。